

第15回産学連携人材ニーズ交流会開催要項

日 時： 令和7年3月1日(土) 9:00~11:30
配信会場： アルカディア市ヶ谷(私学会館) オンライン開催 (Zoom 使用)

1. 開催趣旨

VUCA(ブーカ)の時代と言われるように、変動が激しく不確実で、予測できない複雑な問題を抱える現代社会では、これまでの常識が通用しなくなると言われており、学生には新しい物事や変化そのものに適応する能力が求められています。AI と共存する中、物事の本質を捉える訓練を通じて、実践的に社会課題の解決に立ち向かい、未来を切り拓いていく世界に通用する人材の育成が要請されています。それには、大学教育での知の創造に加え、地域社会や企業の知見、現場感覚、実践体験などを取り入れた学びを通じて、地球的規模で未来を拓く価値の創造に挑戦していく新しい学びが必要になります。

そこで、本協会では、社会と大学が連携した共創活動の「場」が不可欠と判断し、仮想空間にSDGs(持続可能な開発目標)の活動拠点を設けたモデル構想を研究しています。学生が新しい価値の創造に立ち向かっていけるよう、日本社会全体で学びを支援する仕組みとして、共創活動の拠点をメタバース上の仮想空間に設け、SDGs(持続可能な開発目標)の解決を目指す「SDGs サイバーフォーラムコモンズ」の構想に基づくパイロットプランについて、情報専門教育分科会から報告を受け、実現の可能性を確認します。

2. プログラム

9:00 開会挨拶 向殿 政男 公益社団法人 私立大学情報教育協会会長

9:10 情報提供1

(1) SDGs サイバーフォーラムコモンズのパイロットプランについて

大原 茂之 氏 (公益社団法人 私立大学情報教育協会情報専門教育分科会主査)

① 試行実験の基本方針

先行きが不透明で将来の予測が困難な時代において、日本が成長力、競争力を高めていくには大学教育だけでは限界がきています。地球的規模で新しい価値の創造に立ち向かって行けるよう、大学と社会が一体化して学びを支援していく仕組みが求められています。意欲ある学生チームによるSDGsの研究を社会とマッチングする共創活動の拠点を仮想空間に設け、「創発的な学び」*を目指します。*自由な発想やアイデアを生み出すため従来の枠組みにとらわれずに自由に考える。

② 大学教育での位置づけと産学連携の意義

対象とする学びは、意欲のある学生チームによる共同研究・創作活動やゼミナールなどのテーマ別PBLとし、教員・社会の支援を前提にします。

答えのないSDGsの課題解決に向けて、どのように考え、どのようにアプローチしたらよいのかなど、共創活動を企業・自治体関係者(以下「企業等」)に広く知っていただき、関心を誘発してコミュニケーションする中で、未来を拓く価値の創造に挑戦していく仕組み作りを目指します。

③ 期待される効果

学生は、社会からの意見や反応を組み合わせ、創発的に問題解決する社会人力を身に付けることが期待されます。大学は、共創体験を支援することにより、学生と社会のウェルビーイングに関与し、大学価値の拡大・向上につなげることが期待されます。企業等は、学生と共に価値づくりを実現していくことで、組織の存在価値を高め、次世代人材の育成、新たな価値創出や地域創生、製品・サービスの開発などに繋げていくことが期待されます。

9:40 情報提供2

(2) パイロットプランの試行実験について

① 準備について

学生へのメタバース利用ルールの徹底を図るため、5分のビデオ*を作成してオンデマンドで配信した取組みを紹介します。ルールの徹底は、ビデオオンデマンドによる意見表明レポートを担当教員に提出させます。提出のない学生には、担当教員から個別指導を行うようにします。

*サイバーフォーラムでの行動規範について、情報の取り扱いについて、成果物について

「SDGs サイバーフォーラムコモンズ活動に伴う心得」ビデオ視聴

情報教育研究委員会情報専門教育分科会作成

② マッチングについて

仮想空間でのマッチングは、令和6年10月上旬から令和7年1月下旬に試行し、メタバースのプラットフォームに学生が計画しているSDGsの研究内容を掲載し、企業3社・モバイルコンピューティング推進コンソーシアム・スキルマネジメント協会と研究計画の内容を双方で理解共有できるようマッチング基盤環境の試用実感を一部の参加大学の学生、企業から報告いただきます。

<学生チームからの感想>

帝京大学チーム
静岡産業大学チーム
久留米工業大学チーム（予定）

<企業からの感想>

(株)内田洋行
(株)日立製作所
富士通 Japan(株)

<企業団体からの感想>

スキルマネジメント協会、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

10:30 休憩

10:50 **全体討議**

(3) SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想の有効性及び課題について

試行実験の結果を踏まえて、メタバース上の仮想空間に共創活動の拠点を設けることの有効性及び課題などについて意見交換を行い、各大学においてSDGsサイバーフォーラムコモンズ構想を検討・推進するための情報提供を行います。また、マッチング後の共創活動の留意点についても紹介します。その上で、有志の大学と企業及び企業団体が連携した共創活動の状況をユーチューブで発信することを想定します。

11:25 閉会挨拶

11:30 閉会

3. 参加対象者

大学関係者 : 私立大学の教員、職員
企業等関係者 : 本協会の事業に賛同する企業等の関係者

4. 運営方法について

- (1) オンラインによるテレビ会議（Zoom 使用）で行います。
※ Zoom にネット接続し、Web カメラ、マイク等を用いて参加いただきます。
- (2) 「情報提供、質疑応答」の撮影・録画は、著作権・肖像権の観点から厳禁とします。

5. 参加費（無料）

別紙申込書にて、2025年2月25日(火)までにお申込み下さい。
申込書は (<http://www.juce.jp/LINK/sangakurenkei2024/>) に掲載します。
ダウンロードしてメールにて(info@juce.jp)お送り下さい。

6. 問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F
TEL:03-3261-2798、FAX03-3261-5473、E-mail:info@juce.j